

# 平成 29 年度 基礎研修 I ・ II ・ III 開催要項

## 1. 目的

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎課程として、2012 年度より、基礎研修 I、基礎研修 II、基礎研修 III の順に決められたカリキュラムを、各研修 1 年度間、合計 3 年度で受講し、全てのカリキュラムを修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、『社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身に付ける』ことを目的としています。

基礎研修は、認定社会福祉士の研修認証を受けている研修のため、すべてのカリキュラムを修了すると、認定社会福祉士の認定申請に必要な共通専門科目 10 単位（8 科目）をも満たすことになります。

新たに入会された方、または、これまでに基礎研修課程を修了されていない方等は、ぜひお申し込みください。

## 2. 受講対象者

- ★基礎研修 I： 社会福祉士の方
- ★基礎研修 II： 社会福祉士で、基礎研修 I 修了者
- ★基礎研修 III： 社会福祉士で、基礎研修 II 修了者

## 3. 修了期間

### ■『認定社会福祉士認証・認定機構に認証された基礎研修』

認定社会福祉士取得を目指して、認定社会福祉士制度の単位を取得する場合には、基礎研修の受講を開始した年度を基準年度とし、基礎研修 I～III を 6 年間で修了することが必要です。

前年度期間内ですべての科目を修了できず、今年度研修の延長を希望する場合は、別紙の『期間延長願』で手続きを行う必要があります。

### ■『生涯研修制度の基礎研修』

自己研鑽をつむことを目的に、受講する方は、上記の様な修了期間の期限に制限は設けていません。この場合は、生涯研修の基礎研修としての受講となるため、修了することでの単位は、生涯研修制度の単位としてのみ扱われます。そのため、認定社会福祉士制度の単位を取得する場合には、上記のとおり、基礎研修 I～III を 6 年間で修了することが必要です。

## 4. 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準 基礎研修 I ・ II ・ III 別紙のとおり

## 5. 参加定員 基礎研修 I ・ II ・ III 各 60 名

※定員を超過する場合は、先着の正会員を優先させていただきます。

※申込者数が少ない場合、開催しないことがあります。

## 6. 受講費

受講費入金後のキャンセルは返金いたしません。定員調整による受講不可や開催しない場合は、全額返金いたします。

### ★基礎研修 I

#### ■新受講者の方

会 員：15,000 円 非会員：30,000 円

※受講費に、必須教材『基礎研修テキスト（基礎研修 I～III 及びスーパービジョン）』が含まれています。

※一般社団法人山口県社会福祉士会へ入会手続き中の場合は、会員扱いとなります。

#### ■昨年度までに受講費納入済の方

新受講者の受講費と支払済金額との差額分と 1,000 円（資料代等）

## ★基礎研修Ⅱ

### ■新受講者の方

会 員：25,000 円 非会員：50,000 円

### ■昨年度までに受講費納入済の方

新受講者の受講費と支払済金額との差額分と 10,000 円（資料代等）

## ★基礎研修Ⅲ

### ■新受講者の方

会 員：50,000 円 非会員：100,000 円

### ■昨年度までに受講費納入済の方

1,000 円（資料代等）

## 7. 申 込 締 切

★基礎研修Ⅰ：平成 29 年 8 月 4 日（金）必着

（※事前課題がありますので早めにお申込み下さい。）

★基礎研修Ⅱ：平成 29 年 4 月 14 日（金）必着

★基礎研修Ⅲ：平成 29 年 4 月 14 日（金）必着

## 8. 申 込 方 法

- ① 別紙の受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送または FAX にて事務局までお申込みください。
- ② 受講費を所定の口座までお振込みください。
- ③ ①②が確認できた段階で、受講申込受理と致します。

## 9. 受講決定の通知等

受講可否は、申込締切日以降に決定し通知します。受講決定者へはあわせて受講証・研修資料集をお送りします。

## 10. お申込み先・お問い合わせ先

〒753-0072 山口県山口市大手町9番6号 山口県社会福祉会館内

一般社団法人山口県社会福祉士会事務局 担当：吉村

TEL 083-928-6644 FAX 083-922-9915

## 11. お振込先口座 ※振込手数料は、自己負担となります

金融機関名	ゆうちょ銀行
預金種目	当座
口座番号	01300-0-62721
加入者名	一般社団法人山口県社会福祉士会
カナ氏名	シャ) ヤマグチケンシャカイフクシシカイ

ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込む場合

店名（店番）	一三九（イチサンキュウ）店（139）
預金種目	当座
口座番号	0062721
口座名義	一般社団法人山口県社会福祉士会
カナ氏名	シャ) ヤマグチケンシャカイフクシシカイ

## 12. 主催 一般社団法人山口県社会福祉士会

**平成 29 年度基礎研修 I 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準**

1. 期日 平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

◆集合研修 1：平成 29 年 9 月 2 日（土） ◆集合研修 2：平成 30 年 3 月 17 日（土）

2. 会場 山口県身体障害者福祉センター ※開催場所が変更になる場合があります。

3. プログラム

科目	研修番号	内 容
生涯研修制度独自科目	事前課題 1	①社会福祉士の役割を考える。 『生涯研修手帳』を読んでください。社会福祉士としての専門性について考えをまとめ、あなたは生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを 1,200 字以上にまとめてください。
ソーシャルワーク理論系科目 I	事前課題 1	②社会福祉士としての専門性について考える 「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を声に出して一度読んでください。社会福祉士の倫理綱領・行動規範をふまえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことを 800 字以上にまとめてください。
・事前課題提出期日：平成 29 年 8 月 18 日（金）（期日厳守） ※事前課題の提出をもって集合研修 1 の受講を認める。		
生涯研修制度独自科目	集合研修 1・2・3	開催日：平成 29 年 9 月 2 日（土） 【講義&演習】・社会福祉士のあゆみ・日本社会福祉士会、山口県社会福祉士の組織・生涯研修制度
ソーシャルワーク理論系科目 I	集合研修 1	開催日：平成 29 年 9 月 2 日（土） 【講義&演習】・社会福祉士としての専門性について考える
権利擁護・法学系科目 I	事前課題 1	①倫理綱領、行動規範の理解 あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士の行動規範」と照らし合わせ、2 つの項目を取り上げ、あなたの実践を考察してください。（「社会福祉行動規範」1 項目につき 1,200 字以上）
ソーシャルワーク理論系科目 I	事前課題 2  事前課題 3  事前課題 4	②社会福祉に共通する専門性の理解 『基礎研修テキスト』上巻の P1～P25 「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、まとめてください。（1,200 字以上） ③所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ。 所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、まとめてください。（1,200 字以上） ※この課題をまとめるにあたっては、職場の先輩社会福祉士等にソーシャルワークの機能や社会福祉士の役割を必ず聞く。話を聞く方は、社会福祉士会会員の方でなくても構いません。※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、事前課題 4 を 3 箇所にして提出してください。 ④所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ。 他事業所におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所（独立型社会福祉士事務所を含む）で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、まとめてください。（2 箇所以上、各 1,200 字以上）
・事前課題提出期日：平成 30 年 2 月 16 日（金）（期日厳守） ※すべての事前課題の提出をもって集合研修 2 の受講を認める。		
ソーシャルワーク理論系科目 I	集合研修 2	開催日：平成 30 年 3 月 17 日（土） 【講義&演習】・社会福祉に共通する専門性の理解
権利擁護・法学系科目 I	集合研修 1・2	開催日：平成 30 年 3 月 17 日（土） 【講義&演習】・倫理綱領、行動規範の理解・社会福祉士の倫理綱領の現場適用

4. 修了基準

- ① 所定のプログラムを全て受講することで修了となります。
- ② 原則として、15 分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。
- ③ 遅刻・早退・欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします。

平成29年度基礎研修Ⅱ 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準

1. 開催日・研修方法と事前課題・講師の簡易一覧表

月	4月	5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
開催日	受講 受付	20 (土)	27 (土)	10 (土)	22 (土)	19 (土)	2 (土)	28 (土)	11 (土)	16 (土)	13 (土)	24 (土)
研修番号		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
研修方法		DVD	DVD	集合研修	DVD	DVD	集合研修	DVD	DVD	集合研修	DVD	DVD
事前課題				事前課題	事前課題	事前課題				事前課題		
修了レポート							レポート				レポート	
講師		横山順一	安光洋平	横山順一	末廣洋子	末廣洋子	伊藤孝司	梅木幹司	梅木幹司	梅木幹司	末廣洋子	末廣洋子

2. 研修番号の受講内容は下記を参照

研修番号	研修方法と時間数	テーマ	科目
①	DVD講義 (3時間×2)	相談援助の視座と展開過程, 実践のためのアプローチ	ソーシャルワーク理論系科目
②	DVD講義 (3時間×1)	自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	ソーシャルワーク理論系科目
③	集合研修1 (演習6時間)	実践事例演習	ソーシャルワーク理論系科目
④	DVD講義 (3時間×2)	社会資源の理解と社会資源開発, 連携システムのあり方とネットワークの構築	地域開発・政策系科目
⑤	DVD講義 (3時間×2)	地域における福祉政策と福祉計画, 社会福祉調査の方法と実際	地域開発・政策系科目
⑥	集合研修2 (講義2時間×2+演習2時間)	スーパービジョン研修	人材育成系科目
⑦	DVD講義 (3時間×2)	実践研究の意義と方法, 実践研究のための記録	実践評価・実践研究系科目
⑧	DVD講義 (3時間×1)	実践評価の方法	実践評価・実践研究系科目
⑨	集合研修3 (講義2時間+演習2時間+プレゼンテーション2時間)	実践研究発表の方法	実践評価・実践研究系科目
⑩	DVD講義 (3時間×2)	社会福祉における法Ⅰ, ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	権利擁護・法学系科目
⑪	DVD講義 (3時間×2)	社会福祉における法Ⅱ, ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	権利擁護・法学系科目

3. 開催場所 山口県身体障害者福祉センター(予定) 5. 修了基準

4. 時間割

時間	内容
9:00~	受付
9:40~11:10	講義・討議・演習等
11:10~11:25	休憩
11:25~12:55	講義・討議・演習等
12:55~13:40	休憩
13:40~15:10	講義・討議・演習等
15:10~15:25	休憩
15:25~16:55	講義・討議・演習等

- ①所定のプログラムを全て受講することで修了となります。  
 ②原則として、15分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。  
 ③遅刻・早退・欠席した科目は、研修期間の延長を認めます。  
 ④基礎研修Ⅱで修了評価を行う科目は、修了要件・評価基準を満たすことで修了となります。評価基準に達しない場合は、各科目で設定している課題等を行い、基準を満たすことで修了することを認めることができます。

6. 留意点

- ③集合研修1の受講要件は、①②ソーシャルワーク理論系科目の講義の修了と③の事前課題を提出していること。
- ⑨集合研修3の受講要件は、⑦⑧の実践評価・実践研究系科目の講義を修了していること。
- ③④⑤⑨の受講要件は、事前課題を提出していること。

※科目によって、多少所要時間が異なります。

■平成29年度基礎研修Ⅱの概要・開催日

研修方法	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法	研修番号／開催日
集合研修 (DVD活用)	ソーシャルワーク 理論系科目Ⅰ	相談援助の視座と展開課程	・相談援助サービスの視座 ・ソーシャルワーカーの機能 ・社会福祉援助の展開過程	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行い、ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	①5/20(土)
		実践のためのアプローチ(ソーシャルワーク実践理論・モデルから学ぶ)	・エンパワメントアプローチとは ・アプローチによる実践の比較 ・危機介入アプローチの実践	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行い、ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	①5/20(土)
		自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	・社会福祉における生活のとらえ方 ・生活をとらえる視点 ・地域自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行い、ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	②5/27(土)
集合研修1	ソーシャルワーク 理論系科目Ⅰ	実践事例演習	・理論を言語化する ・アセスメント、支援目標の設定と、支援計画策定 ・チームアプローチと組織間ネットワーク ・ケア会議の進め方(モニタリング・評価・ネットワーク)	・演習:6時間	・自宅学習:事前/設定された課題についてレポートをまとめる。 ・演習: ソーシャルワーク理論系科目の上記の講義を修了していない者は、参加できない。 ・事例を用いてロールプレイを行う。事例検討ではなく、展開過程を理解するための講義・演習を行う。 ・自宅課題(事後):設定された課題について	③6/10(土)
集合研修 (DVD活用)	地域開発・政策系 科目Ⅰ	社会資源の理解と社会資源開発	・社会資源とは、社会資源の連携、社会資源の開発 ・所属組織が所在する地域特性から考えられる住民生活の特徴について ・所属組織が所在する地域で今後必要と思われる社会資源について	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。 ・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	④7/22(土)
		連携システムのあり方とネットワークの構築	・地域における連携システム ・ネットワークの構築 ・地域の連携システムとネットワークを構築するための工夫	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	④7/22(土)
		地域における福祉政策と福祉計画	・所属組織が所在する自治体の福祉計画について ・地域における自組織の役割について ・所属組織が所在する地域の住民福祉活動やボランティア活動の実態や課題 ・地域の福祉政策を知る手掛かりや活用方法について ・福祉行政の計画化、計画策定のプロセス、福祉計画の推進と住民参加 ・地域特性と福祉計画の関係について ・地域で展開されている住民活動の現状と課題について	・自宅学習:3時間 ・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。 ・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑤8/19(土)
		社会福祉調査の方法と実際	・社会福祉調査とは、調査のプロセス、調査の方法 ・社会福祉調査を企画について ・所属組織が所在する地域での実際の調査について	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・自宅学習:設定された課題についてレポートをまとめる。集合研修終了後に事後課題を提出する。 ・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑤8/19(土)
		スーパービジョンとは	・一般的なスーパービジョン、社会福祉士会におけるスーパービジョン、社会福祉士会のスーパービジョンの研修体系と実施体制について概要を説明する。またスーパーバイザーとして必要な心得を伝え、モチベーションを高める。	・講義:2時間	・パワーポイントを用いた講義をする。 ・講師1名	
集合研修2	人材育成系科目 Ⅰ	スーパービジョンのモデルセッションを見る	・日本社会福祉士会のスーパービジョンのイメージを持つため、モデルスーパービジョンのセッションを見る。	・講義:2時間	・事前にシナリオ及び事例を準備し、初回のスーパービジョンの展開を見せる。その際、機能表を用いながらシナリオに基づいて適宜説明を加える。 ・講師1名 ・スーパーバイザー役、スーパーバイジー役各1名	⑥9/2(土)
		スーパーバイザー体験	・バイザーとしての基本 ・スーパービジョンの実際(スーパーバイザーとして) ・モデル事例を用いてスーパーバイザー役を行う。	・演習:2時間	・5~6名のグループ編成において各グループにファシリテーター1名 ・ファシリテーターがスーパーバイザー役となり、2名程度模擬事例を使いスーパーバイザー体験をする。 ・他の受講者は観察をし、振り返りを通じて共有する。 ・講師1名	
		実践研究の意義と方法	・実践研究とは何か ・実践研究が求められる理由 ・社会福祉における実践研究の定義 ・日本社会福祉士会の歩みにみる実践研究への道のり	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑦10月28日(土)
集合研修 (DVD活用)	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究のための記録	・記録の目的 ・多様な記録の用途 ・実践研究を進めるうえでの実践記録の必要性 ・よい記録をとるための留意点 ・ビジュアルアセスメントツールの活用	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑦10月28日(土)
		実践評価の方法	・実践評価とは ・実践評価の種類 ・評価目的による分類 ・実践評価の方法	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑧11月11日(土)
		実践研究発表の方法	・実践研究の具体的な方法 ・実践研究に基づく論文作成の留意点 ・実践研究論文の具体的な事例を提示し、論文の組み立て方や研究方法、論理的配慮等について ・自分自身の実践事例のプレゼンテーション(発表→質問→相互評価)	・講義:2時間 ・演習:2時間 ・プレゼンテーション:2時間	・講義: 講師による講義を行う。 ・演習: 講義を受けたあと演習を行う。 ・プレゼンテーション: 自分自身の実践事例についてプレゼンテーションを行う。	⑨12月16日(土)
集合研修 (DVD活用)	権利擁護・法学系科目Ⅰ	社会福祉における法Ⅰ	・人権の歴史 ・社会福祉士実践と法理念(憲法25条及び13条、社会福祉法の理念など) ・憲法14条「法の下の平等」と格差問題 ・自己決定と自己責任の間 ・立法上の権利 ・契約上の権利 ・行政手続の法 ・権利の救済(行政訴訟、行政不服審査など)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑩1/13(土)
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	・ソーシャルワークと権利擁護の視点 ・権利擁護を支える理念(自己決定、エンパワメント、アカウントビリティ、セルフアドボカシー) ・権利擁護の諸制度(成年後見制度・虐待対応について含む)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑩1/13(土)
		社会福祉における法Ⅱ	・民法の構成 ・権利主体、客体と法律行為 ・成年後見 ・契約	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑪2月24日(土)
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	・権利擁護実践事例Ⅰ(独居高齢者の成年後見制度の活用事例) ・権利擁護実践事例Ⅱ(障害者における消費者被害の回復)	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義: DVDを活用した講義を行う。 ・グループ討議: ファシリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う。	⑪2月24日(土)

平成29年度基礎研修Ⅲ 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準

1. 開催日・研修方法と事前課題・講師の簡易一覧表

月	4月	5月		7月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日	受講受付	20(土)	27(土)	1(土)	22(土)		2(土)	28(土)	11(土)	16(土)	13(土)	24(土)	17(土)
研修番号		①	②	③	④		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
事前課題			事前課題	中間課題	事前課題		事前課題	中間課題	事前学習	事前学習	事前課題	事前課題	事前課題
研修方法		集合	集合	集合	集合		集合	集合	DVD	DVD	集合	集合	集合
修了レポート			レポート	レポート	レポート			レポート			レポート		
講師		梅木幹司	内田充範	梅木幹司	安光洋平		内田充範	内田充範	安光洋平	安光洋平	安光洋平	伊藤孝司	伊藤孝司

2. 研修番号の受講内容及び時間

研修番号	時間	テーマ	科目
①	9:30~11:00 (1.5時間)	・対人援助と事例研究	実践評価・実践研究系科目 I
	11:15~12:45 (1.5時間)	・事例研究の基本枠組み	
	13:30~16:30 (3時間)	・事例研究の方法としてのケースカンファレンス	
②	9:30~11:00 (1.5時間)	・事例研究のための事例のまとめ方	実践評価・実践研究系科目 I
	11:45~15:15 (3.5時間)	・実践事例演習Ⅱ	ソーシャルワーク理論系科目 I
③	9:30~11:00 (1.5時間)	・模擬事例検討会	実践評価・実践研究系科目 I
	11:45~15:15 (3.5時間)		
④	9:30~11:00 (1.5時間)	・意思決定の支援	権利擁護・法学系科目 I
	11:15~12:25 (1.2時間)		
	13:10~16:30 (3.4時間)		
⑤	9:30~11:00 (1.5時間)	・地域における福祉活動	地域開発・政策系科目 I
	11:15~12:15 (1時間)		
	13:00~16:30 (3.5時間)		
⑥	9:30~16:30 (6時間)	・地域の課題の解決に向けた具体策について	地域開発・政策系科目 I
⑦	9:30~11:00 (1.5時間)	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営	サービス管理・経営系科目
	11:15~12:45 (1.5時間)		
	13:30~15:00 (1.5時間)	・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント	
	15:15~16:45 (1.5時間)		
⑧	9:30~11:00 (1.5時間)	・リスクマネジメントと苦情解決システム	サービス管理・経営系科目
	11:15~12:45 (1.5時間)		
⑨	9:30~16:00 (5時間)	・事例研究(苦情、リスク、サービス評価)	サービス管理・経営系科目
⑩	9:30~11:30 (2時間)	・スーパービジョンのモデルセッション	人材育成系科目 I
	12:15~14:15 (2時間)		
⑪	9:30~16:00 (5時間)	・新人育成プログラム	人材育成系科目 I

3. 開催場所 山口県身体障害者福祉センター ※開催場所を変更する場合があります。

4. 修了基準

- ① 所定のプログラムを全て受講することで修了となります。
- ② 原則として、15分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。
- ③ 遅刻・早退・欠席した科目は、研修期間の延長を認めます。
- ④ 基礎研修Ⅲで修了評価を行う科目は、修了要件・評価基準を満たすことで修了となります。  
評価基準に達しない場合は、各科目で設定している課題等を行い、基準を満たすことで修了することを認めることができます。

5. 留意点

- ・基礎研修Ⅲに関しては、補講対応はありません。
- ・②③④⑤⑥⑨⑩⑪の受講要件は、事前課題・中間課題を提出していること。

■基礎研修Ⅰの概要 ■平成29年度基礎研修Ⅱの概要・開催日

群	研修番号	科目	テーマ	研修内容	研修時間	研修方法	研修番号/開催日	
第1群	集合研修1	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・対人援助と事例研究	・対人援助の本質と事例研究の定義	・講義:1.5時間	・講師による講義を行う	①5/20(土)	
			・事例研究の基本枠組み	・事例研究の枠組みと5つの構成要素	・講義:1.5時間			
			・事例研究の方法としてのケースカンファレンス	・事例研究の方法としてのケースカンファレンスについて一有意義な展開のための40のポイント	・講義3時間			
	集合研修2	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・事例研究のための事例のまとめ方	・事例のまとめ方(事例研究用フェイスシート、経過記録、全体の所感・論点・展望)	・講義:1.5時間	・指定された課題についてレポートをまとめる	②5/27(土)	
			・中間課題	・「事例研究のまとめ方」について講義を受けた上で、指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめる				
	集合研修3	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・事前課題	・ソーシャルワークの実践理論に基づき、個人、地域、組織における相談援助の基礎が理解できているかの課題をまとめる		・指定された課題についてレポートをまとめる	②5/27(土)	
・実践事例演習Ⅱ			・自身の実践の計画、振り返り、改善 ・報告発表	・報告会:3.5時間				
集合研修3	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・模擬事例検討会	・事例検討会を受講者自ら企画、運営し、自身の実践についての評価・検証を行う	・講義:1.0時間 ・演習:3.5時間	・講義:講師による講義を行う ・演習:模擬事例検討会を実施する	③7/1(土)		
		・科目修了レポート	・指定されたフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめた者を集合研修で相互評価してもらった上で掲載する		・科目の修了の評価のためレポート作成し提出する			
第2群	集合研修4	権利擁護・法系科目 Ⅰ	・事前課題			・資料を読みレポートを作成する	④7/22(土)	
			・意思決定の支援	・意思決定の支援(講義) ・社会福祉調査の方法 ・権利侵害の防止と対処についての演習	・講義:1.5時間 ・演習:4.5時間	・講義:講師による講義を行う ・演習:講師とファンリテーターによる権利侵害の対処等事例演習を行う		
			・科目修了レポート			・設定された課題についてレポートを作成する		
第3群	集合研修5	地域開発・政策系科目 Ⅰ	・事前課題	・地域福祉計画と利用者支援の関係について		・設定された課題についてレポートをまとめる	⑤9/2(土)	
			2. 地域における福祉活動	・地域における福祉計画 ・地域福祉調査の方法 ・当事者の声を聴く	・講義:1.5時間 ・事例:1時間 ・演習:3.5時間	・講義:講師による講義あるいはDVDを活用した講義を行う ・演習:講義をふまえて、生活課題から社会資源の開発やネットワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定のワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う		
	集合研修6	地域における福祉活動 の実際	5. 地域の課題の解決に向けた具体策について	・自らの調査内容、結果の確認 ・ニーズ解決に向けた具体的計画の振替裏と見直し	・演習:6時間	・講義をふまえて、生活課題から社会資源の開発やネットワーク構築、課題解決に向けた具体策の検討について所定のワークシートを用いた個人ワークやグループワークを行う。各自が作成した課題を用いて、意見交換や相互評価を行う	⑥10/28(土)	
			6. 自組織に求められている課題や今後の方向性	・再考した結果を踏まえ、計画を具体化するための具体策や今後の方向性についてまとめる ・地域の課題解決に向けて、自組織に求められている課題と今後の方向性についてまとめる	・事後課題 ・自宅学習	・設定された課題についてレポートをまとめる		
	第4群	集合研修 (DVD活用)	サービス管理・経営 系科目Ⅰ	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営	・いま、なぜ福祉に“経営”なのか ・福祉経営の変遷 ・社会福祉士が経営をとらえる視点 ・組織のミッションとコンプライアンス ・サービス管理 ・リスクマネジメント ・公益法人としての法人経営	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:DVDを活用した講義を行う ・グループ討議:ファンリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う	⑦11/11(土)
		集合研修 (DVD活用)		・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント	・社会福祉実践の評価 ・サービス評価が必要とされる背景 ・サービス評価の視点と枠組み(事業者評価・利用者評価・第三者評価) ・サービス評価の実際	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:DVDを活用した講義を行う ・グループ討議:ファンリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う	
集合研修 (DVD活用)		・リスクマネジメントと苦情解決システム		・苦情のとらえ方 ・苦情解決システム(苦情解決の仕組みの意義・苦情解決における役割・しくみ) ・苦情解決の実際	・講義:1.5時間 ・グループ討議:1.5時間	・講義:DVDを活用した講義を行う ・グループ討議:ファンリテーターの支援のもと質疑応答及び設定されたテーマによるグループ討議を行う		
集合研修7		・事前課題		・課題1:所属組織のサービス評価のしくみ・方 方法・評価方法についてまとめる ・課題2:所属組織のリスクマネジメントのしく み、苦情解決システムについてまとめる	・事前課題	・指定された課題についてレポートをまとめる		
集合研修7	・事例研究(苦情、リスク、サービス評価)	・所属組織のサービス評価の仕組み、管理方法、評価方法について ・所属組織のリスクマネジメントの仕組み、苦情解決システムについて	・演習5時間	・講義内容をふまえて、事前課題で作成した所属組織の現状及び改善課題についてグループ内で、表し共有する。その後、講義のポイント①②の課題について対応できるように演習を行う	⑧12/16(土) ⑨1/13(土)			
	・科目修了レポート	・課題1:諸奥組織の枠組みをふまえて、サービス管理、改善等を行う場合の働きかけ先・方法・タイミング等についてレポートにまとめる ・課題2:他職場のサービス管理方法と対比し、改善課題をレポートにまとめる	・事後課題	・指定された課題についてレポートをまとめる				
第5群	集合研修8	人材育成系科目Ⅰ	・事前課題	・自己チェックシート(様式1)の記入	・事前課題	・一連のモデルスーパービジョンを見て共有した後、講師とともにスーパービジョンのプロセスを振り返る。 ・体験シートを使い体験する。	⑩2/24(土)	
			・スーパービジョンのモデルセッション	・スーパービジョンのモデルを身ながら、スーパービジョンのプロセスと視点について再確認をする ・スーパービジョンの基本的考え ・スーパービジョンのプロセス	・講義2時間 ・演習2時間			
	集合研修9	・新人教育プログラム	・自己チェックリストの記入 ・自己を振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明し、後進育成プログラムについて企画・運営プログラムを立案する ・自己の職場実践について説明 ・自己チェックの実施(自己の振り返り) ・研修プログラムの立案	・事前課題 ・講義1時間 ・演習4時間	・自己の振り返りをもとに、後進育成のために求められる研修プログラムを立案する	⑪3/17(土)		